

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

| | | | |
|------|--|--------|----------------------|
| 施設名称 | 大師公園 | 評価対象年度 | 平成25年度 |
| 事業者名 | 事業者名 公益財団法人川崎市公園緑地協会 代表者名 理事長 篠田 隆志 (平成25年6月6日まで 碓 親二) 住 所 川崎市中原区等々力3番12号 | 評価者 | 管理課長 |
| 指定期間 | 平成24年4月1日～平成29年3月31日 | 所管課 | 川崎区役所道路公園センター 管理課 |

2. 事業実績

※()内は平成24年度

| | |
|-----------|--|
| 利用実績 | 大師公園は川崎大師平間寺に隣接する都市公園であり、市民の憩いの場となっています。園内の藩秀園や芝生広場等での各種催物の数は昨年度より17件増加し、180件の催物が実施されました。催物のうち、115件については藩秀園での撮影目的による利用で、14件増加しました。個人撮影やテレビ番組の撮影など、中国風の庭園の特徴を活かした利用がされ、喜ばれています。また、芝生広場は、市内小学校の遠足や校外学習にも利用され、公園内行為の申請は65件で3件増加し、利用者は8,865人で232人増加しています。公園施設利用者数は推計となりますが、軟式野球場15,124人(15,160人)、テニスコート12,375人(13,044人)、少年野球場19,405人(29,740人)でした。藩秀園来場者は、79,660人(87,409人)でした。利用者数が減少した主な理由としては、少年野球場については地元小学校の校舎新築が終了したこと、テニスコートについては昨年の酷暑・残暑によるものと思われるが、通年どおりの利用実績でした。 |
| 収支実績 | 平成25年度の収入は、指定管理事業収入37,400,000円(37,400,000円)、自主事業収入926,312円(893,529円)、その他の収入2,584円(2,388円)、計38,328,896円(38,295,917円)。それに対し支出は、事業費13,064,711円(14,748,591円)、管理費23,907,440円(22,395,318円)、自主事業費570,058円(728,962円)、計37,542,209円(37,872,871円)であり、当期収支差額は786,687円(423,046円)でした。 |
| サービス向上の取組 | 公園利用者からの意見・要望のうち最も多いのはトイレの改修だったことを踏まえ、トイレ改修について計画し、公園管理棟の女性用トイレについて、和式から温水洗浄便座付きの洋式へと改修しました。なお、平成26年度は男性用トイレを改修する計画です。 通常の公園維持管理運営業務については、仕様書の水準を上回る、野球場等の除草、高木の剪定・芝生広場の芝刈りなどを実施し、サービスの向上に努めていました。 |

3. 評価

| 分類 | 項目 | 着眼点 | 配点 | 評価段階 | 評価点 |
|---|---------------|---------------------------------------|----|------|-----|
| 利用者満足度 | 利用者満足度 | 利用者のニーズ等を捉えるための具体的方策を実施しているか | 15 | 3 | 9 |
| | | 利用者ニーズ等を適切に分析し、具体的な取り組みに反映させているか | | | |
| | | 利用者満足度は向上したか | | | |
| (評価の理由) アンケート調査による利用者からの御意見・御要望・苦情等は18件あり、「トイレの清掃・修理をしてほしい」「更衣室に空調が無いのは許せない」等要望が寄せられたことを踏まえて検討し、25年度については管理棟の女性用トイレの改修を実施し、和式から温水洗浄便座付きの洋式へと改修しました。男性用トイレについては26年度での改修を計画しています。更衣室の空調については、設置個所や設置方法について現在検討を行っているところです。今後は、より多くの御意見・御要望等を収集し、よりよい管理運営を図るための工夫が必要と考えます。 | | | | | |
| 収支計画・実績 | 効率的・効果的な支出 | 計画に基づく適正な支出が行われているか | 10 | 3 | 6 |
| | | 支出に見合う事業が行われているか | | | |
| | | 効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか | | | |
| | 適切な金銭管理・会計手続 | 収入と預金等を区別して適切に管理されているか | 5 | 3 | 3 |
| 事業収支に関して適正な会計処理が為されているか | | | | | |
| (評価の理由) 人件費の抑制に努め、管理費は予算ベースより1,765千円少ない執行額となりました。この管理費を委託料・賃借料に流用し、平成25年度に計画されていた樹木剪定委託、機械修理等に加えて、愛犬マナー講習会場設営委託、遊具補修等を実施し、効率的な事業費の執行を図っています。また、自動販売機の収入を活用した自主事業としては、種苗を購入し、大師小学校・大師町内会と協働した花壇作りを実施したほか、園内にベンチ(1基)を新設するなど、より来園者が憩い、安らげるような公園事業を実施しました。次年度に向けた検討事項としては、収支差額786千円の、更なる有効活用で公園の環境向上を図るよう指導します。 | | | | | |
| サービス向上及び業務改善 | 適切なサービスの提供 | 提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか | 9 | 4 | 7.2 |
| | | サービスを向上させ、利用促進をはかる具体的な取組が為されているか | | | |
| | | 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか | | | |
| | 業務改善によるサービス向上 | 業務の遂行にあたって、現状分析、課題把握に取り組んでいるか | 6 | 3 | 3.6 |
| | | 業務改善が必要な場合に、改善策の検討と実施が行われているか | | | |
| | 利用者の意見・要望への対応 | 利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか | 6 | 4 | 4.8 |
| 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか | | | | | |
| (評価の理由) 公園利用者が安全に安心して利用できる公園作りを推進することは、公園管理の基本であり、適切なサービスの向上につながる重要な課題です。今年度は次の3つの課題において業務改善やサービスの向上を目指しました。軟式・少年野球場の除草・ライン引きの実施、芝生広場の除草・芝補植、高木剪定など、仕様書をはるかに上回る作業実績で、利用者へのサービス向上に努めていました。また、迷子のお子さんや負傷者への対応や、遺失物・拾得物の処理についても適切に対応していました。毎日の巡回点検の他にも随時園内パトロールを行い、違法行為や犬の放し飼いその他危険行為や迷惑行為を指導しました。利用者からの困難な陳情への対応にも迅速に対応していたほか、引き続き設置の公園利用者アンケート投函箱を活用し、利用者のニーズの把握に努めていました。 | | | | | |

| | | | | | |
|--|------------------------|---|----|-----|-----|
| 組織管理体制 | 適正な人員配置 | 必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか | 10 | 3 | 6 |
| | 連絡・連携体制 | 定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか | | | |
| | 再委託管理 | 再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか | 5 | 2 | 2 |
| | 担当者のスキルアップ | 業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修・会議等が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか | | | |
| | 安全・安心への取組 | 事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等) | 6 | 3 | 3.6 |
| | | 緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築しているか | | | |
| | コンプライアンス | 個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか | 6 | 2 | 2.4 |
| | 職員の労働条件・労働環境 | スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか | | | |
| 環境負荷の軽減 | 環境に配慮した調達や業務実施が行われているか | 4 | 3 | 2.4 | |
| (評価の理由) 公園内整備作業中に職員による労災事故が発生しました。原因としては作業時の安全衛生や安全作業マニュアルの不徹底によるものでした。事故後、労働基準監督署の指導を受け、安全作業マニュアルの再検討やコンプライアンスの再確認等、職員への徹底を図り再発防止に取り組みました。また、担当者のスキルアップのため、本部協会会員による研修会・講習会・リスクアセスメント等を実施し、施設管理の質の向上に努めました。 | | | | | |
| 適正な業務実施 | 施設・設備の保守管理 | 安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか | 6 | 3 | 3.6 |
| | 管理記録の整備・保管 | 業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか | | | |
| | 清掃業務 | 施設内の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか | 6 | 3 | 3.6 |
| | 植栽管理 | 植栽等の維持管理を適切に実施しているか | | | |
| | 警備業務 | 施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか | 6 | 3 | 3.6 |
| | 備品管理 | 設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか | | | |
| (評価の理由) 有料施設利用実績表や維持管理点検表・業務日誌等で日々の管理運営内容と実施状況を確認したところ、仕様書水準の業績を確認しました。また、道路公園センターが実施したモニタリングでは、年4回の実地調査を行い、公園内の清掃状況や危険箇所の点検・遊具の安全確認・樹木の剪定状況・枯れ枝の有無等を公園利用者の視点でチェックし、適正な業務が実施されていることを確認しました。モニタリングの結果については、よりよい公園利用のための参考資料として指定管理者と共有しています。 | | | | | |

4. 総合評価

| | | | |
|-------|------|-------|---|
| 評価点合計 | 60.8 | 評価ランク | C |
|-------|------|-------|---|

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

公園利用者の御意見・御要望を具現化した管理棟トイレ改修や地元小学校・町内会と協働した花壇作りは評価できる事案だと思われま
す。
また、公園整備作業中の労災事故発生については、日常の作業における安全衛生に対する自覚の欠如や、安全作業マニュアルの不徹底が主な原因であり、事故発生後、公園緑地協会では、原因の究明と共に作業マニュアルの見直しを行うとともに、安全衛生教育の徹底を目標に引き続き講習会・研修会等を開催しております。
施設の維持管理業務においても、指定管理者業務仕様書の水準を満たしていることが確認できたことから、全体としては、指定管理業務について当初の目的を達成していると評価します。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

公園利用者が安全に安心して利用できる公園づくりに努めること。
労災事故に関わる案件では、講習会・研修会等の定期的な実施が継続されつつも決して形骸化することなく、二度と労災事故を起こさないよう、安全管理について引き続き努めること。
指定管理収支関係では、より有効な事業を展開するため、収支差額改善について協議すること。
また、公園利用者からいただいた御意見・御要望等については、迅速に確認し対応することが最も重要なので、その対応状況について管理棟に掲示して利用者へお知らせするなど周知を図り、今後も更なる快適な公園利用の向上に努めるよう業務を実施していくこと。